

家庭科

教科の目標

生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようとする資質・能力を育てます。

①家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて日常生活に必要な基礎的な理解を深めると共に、それらに係る技能を身につけるようにします。

②日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養います。

③家族生活を大切にできる心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養います。

学習内容

【3つの内容】 地域や学校、児童の実態に応じて弾力的に学習指導が展開できるよう、2学年まとめて示しています。

【家族・家庭生活に関する内容】

- ☆自分の成長と家族・家庭生活
- ☆家庭生活と仕事
- ☆家族や地域の人々との関わり
- ☆家族・家庭生活についての課題と実践

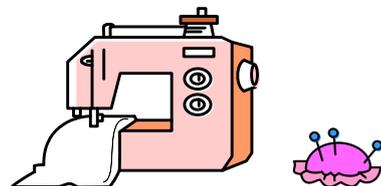


【衣食住の生活に関する内容】

- ☆食事の役割
- ☆調理の基礎
- ☆栄養を考えた食事
- ☆衣服の着用と手入れ
- ☆生活を豊かにするための布を用いた製作
- ☆快適な住まい方

【消費生活・環境に関する内容】

- ☆物や金銭の使い方と買い物
- ☆環境に配慮した生活



授業の工夫

○ 基礎・基本を確実に身に付けさせるために個に応じた授業を実践します。

- ★ 対話的・共感的な理解
- ★ 学習形態の工夫
- ★ コンピュータや情報通信ネットワークの活用 など

○ 衣食住や家族等に関する実践的・体験的な活動を充実させます。

評価について

*家庭科では、次の3つの観点で評価します。

(1) 家庭生活に関する知識・技能

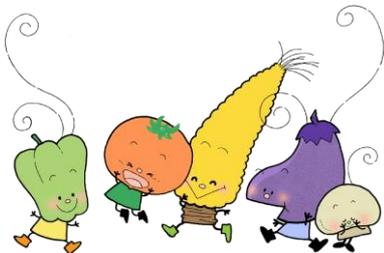
- ☆ 学習課程における技能の習熟状況、完成作品により多面的に評価します。
- ☆ レポート、学習プリントの記入状況、テストなどにより評価します。

(2) 家庭生活に関する思考・判断・表現

- ☆ 実際の生活や実習の中で解決すべき課題を見だし生活経験と関連づけて方法を 考え、実践し表現する力を総合的に評価します。
- ☆ レポート、学習プリントの記入状況、テストなどにより評価します。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ☆ 実習や実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取り組み状況、作品の提出状況、レポートや作文、家庭での実践記録などにより評価します。



保護者の方へ

- 家庭科の学習では、教科書（開隆堂）を使用して、学習を進めます。お子さんの学習状況を知る上でもご一読くださるようお願いいたします。
- 学習したことを実際に生活の中で生かすことができるようになって欲しいと思っています。お家で実践できる場を是非作ってください。
- 時々課題を出します。お忙しいとは思いますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。そして、「ありがとう。助かるよ。」「こんなことができるようになったんだね。うれしいよ。」など、ねぎらいの言葉をかけてあげてください。それが家族の一員としての自覚を促し、「またやってみよう。」という意欲につながっていくと思います。